

第二小学校／高松児童館／曙学童保育所 複合施設整備 事業提案書に関する説明会

①令和7年1月17日(金)19時00分～

②令和7年1月18日(土)10時00分～

場所:第二小学校 家庭科室



立川市

教育委員会事務局 教育部 学校施設建替担当課
子ども家庭部 子ども育成課

目次

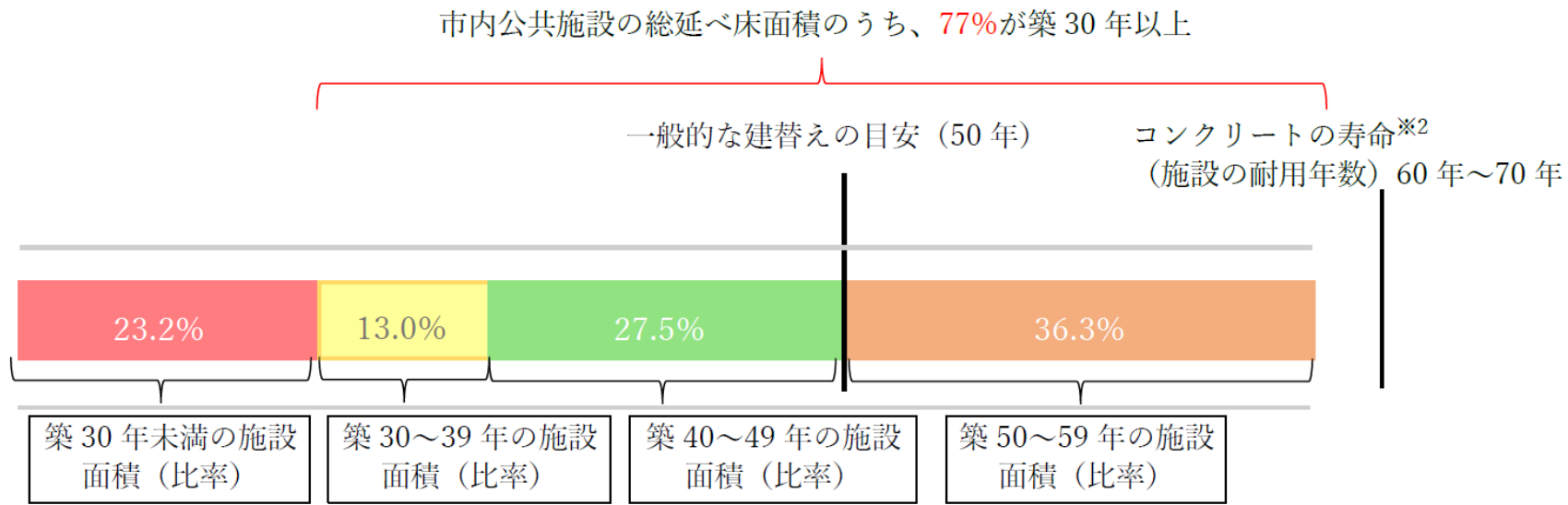
1. 公共施設の概況・再編について
2. 第二小学校/高松児童館/曙学童保育所複合施設整備について
3. 事業者選定
4. お問い合わせ先



1 公共施設の概況・再編について

① 公共施設の老朽化

多くは老朽化が進み、総面積のうち築後30年以上の面積の合計は約77%です。
今後多くの施設を建替える必要があります。

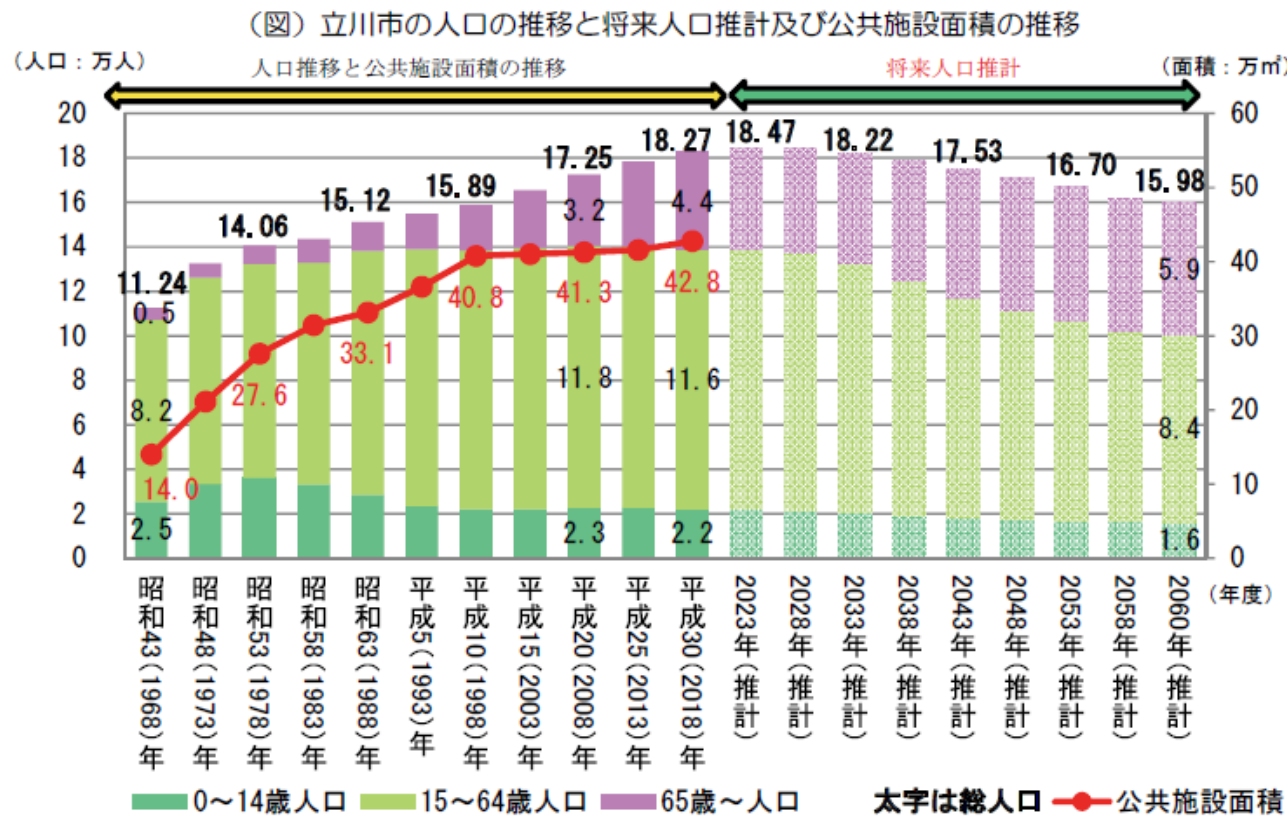


- 1. 立川市の公共施設の総面積のうち、築後 30 年以上の施設面積の合計は約 77%
- 2. 約 10 年～30 年後に施設の耐用年数 (= 70 年) (「立川市公共施設保全計画」より) に達するため、建替えが必要となる。
- 3. 建物施設だけではなく、橋や下水道などの都市インフラ施設※3 も老朽化し、今後対策が必要となる。

1 公共施設の概況・再編について

② 人口減少・少子高齢化

一方で、今後、少子高齢化がますます進み、社会の担い手が減っていくとともに、段階的に人口減少傾向に転じることが見込まれています。



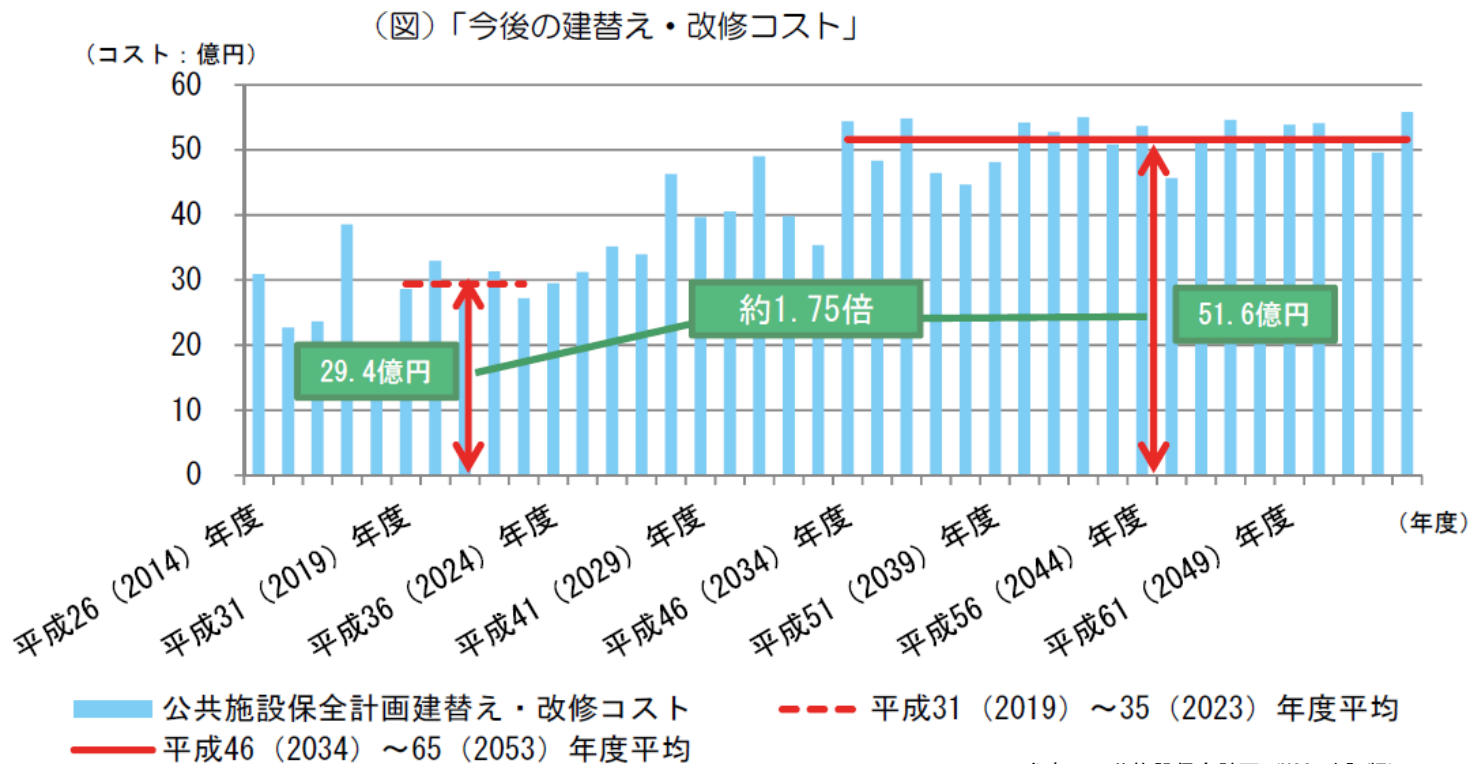
※グラフの「公共施設面積」は財産に関する調査の「行政財産」の延床面積の合計
参考：立川市第4次長期総合計画後期基本計画策定のための将来人口推計調査（H30）
各年度「世帯と人口」、各年度決算「財産に関する調査」

1 公共施設の概況・再編について

③ 厳しい財政状況

全ての公共施設を改修し続けた場合でも、いずれ建替えが必要となり、改修を続けた場合の約1.75倍の財政負担を将来世代に残すことになります。

また、現状の大きさを施設を建替えても、将来の人口構造に見合わない余剰な床面積を生み、維持管理コストの負担がさらに増す恐れがあります。



参考：公共施設保全計画（H28 改訂版）

1 公共施設の概況・再編について

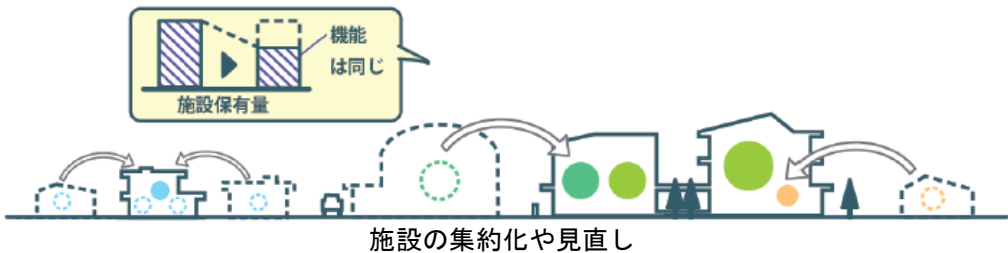
④ 施設再編の取組経過

年度	市の取組	主な内容
平成24年度	公共施設保全計画	施設劣化度や保全優先度を定め、長寿命化の考えのもと、公共施設を良好な状態で保全管理するための、建替え・改修の予定などをとりまとめたもの
平成26年度	公共施設あり方方針	今後の公共施設はどうあるべきかという方向性について、3つの大方針と、令和35(2053)年度までの公共施設の面積削減目標などをとりまとめたもの
平成28年度	公共施設再編計画	「あり方方針」を受けて、施設再編についての「市の基本的考え方」と、「再編方針(分野別・地域別)」をとりまとめたもの
平成29年度	公共施設改修の考え方と再編	これまで進めてきた「公共施設保全計画」の改修予定を原則保留とし、今後は「公共施設再編個別計画」を進めるという考え方
平成30年度	公共施設再編個別計画	再編を行う圏域と施設を分類・選定し、再編の進め方と「再編モデルケース」を示したもの
令和2年度	施設のあり方	ドリーム学園・健康会館・歴史民俗資料館・練成館について、老朽化の状況や、今後の社会動向を踏まえた中で、施設に求められる機能や理念をまとめたもの
	前期施設整備計画	公共施設再編個別計画で前期検討対象となった公共施設※について、令和10(2028)年度までの建替え、改修などの方向性を示すとともに、施設ごとの整備内容を示したもの ※全市施設(ドリーム学園・健康会館・歴史民俗資料館・練成館)・地域施設(二中・三中・五中学校圏域の施設)

1 公共施設の概況・再編について

⑤ 施設再編の3つの方針

公共施設の
スリム化と機能
(役割)重視の
再編・転換



地域の核となる
公共施設への
さらなる展開



効率的な
公共施設の
運営



1 公共施設の概況・再編について

⑥ 公共施設の削減目標

財政見通しや将来人口推計を用いて、令和35(2053)年度までの持続可能な公共施設の保有面積総量を推計し、床面積で約20%(7万㎡)、建替え・改修コストで約312億円を削減目標として取り組みます。

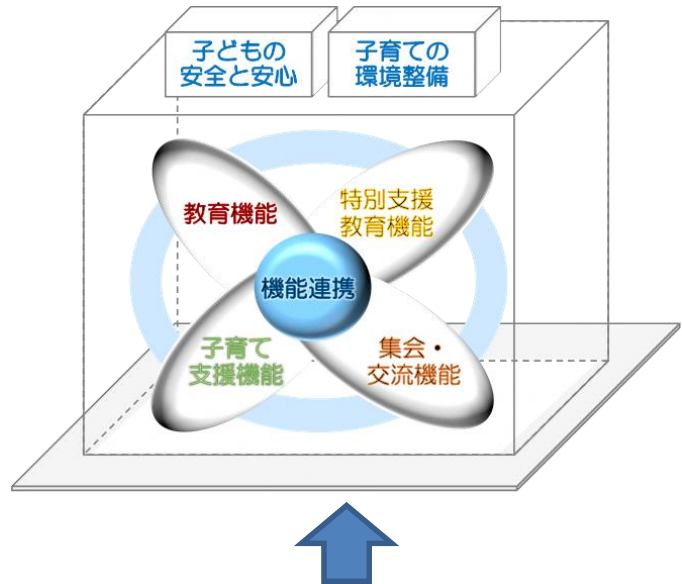
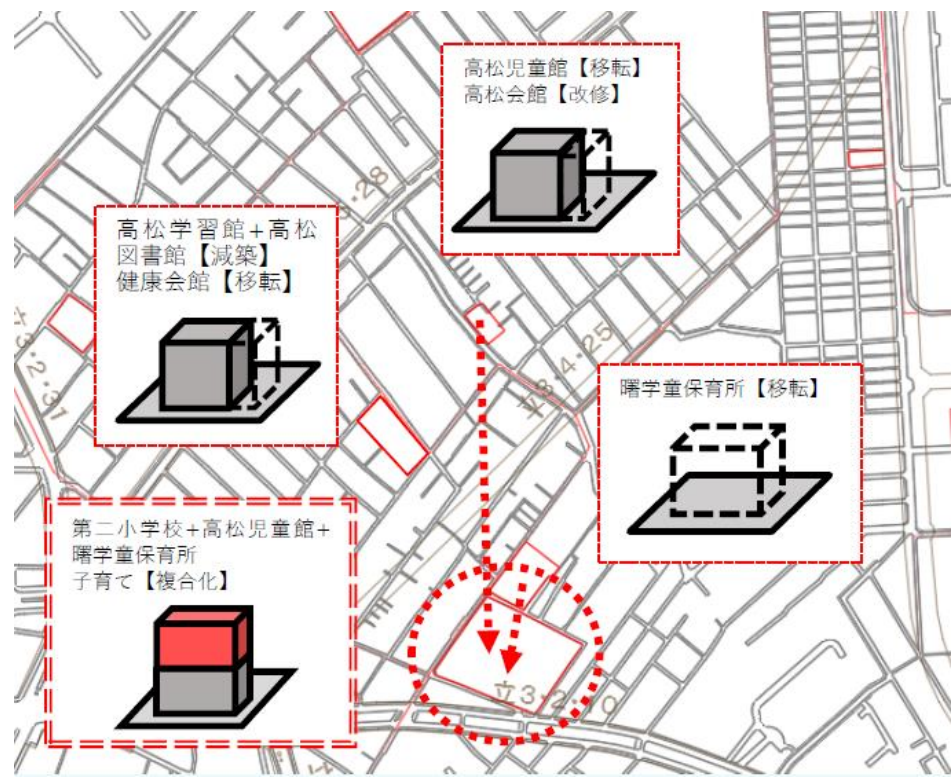


※ 第二小学校/高松児童館/曙学童保育所複合施設の延床上限面積
(目安) 約7,773㎡ → 約6,850㎡(現況施設との比較 12%削減)

2 第二小学校/高松児童館/曙学童保育所複合施設整備について

① 整備方針

小学校で担う教育機能、特別支援教育機能に子育て支援機能を集約し、子どもたちが主役となる拠点として整備します。



第二小学校	曙学童保育所	高松児童館	地域交流室
・教育機能 ・特別支援教育機能	・子育て支援機能	・子育て支援機能	・集会、交流機能

2 第二小学校/高松児童館/曙学童保育所複合施設整備について

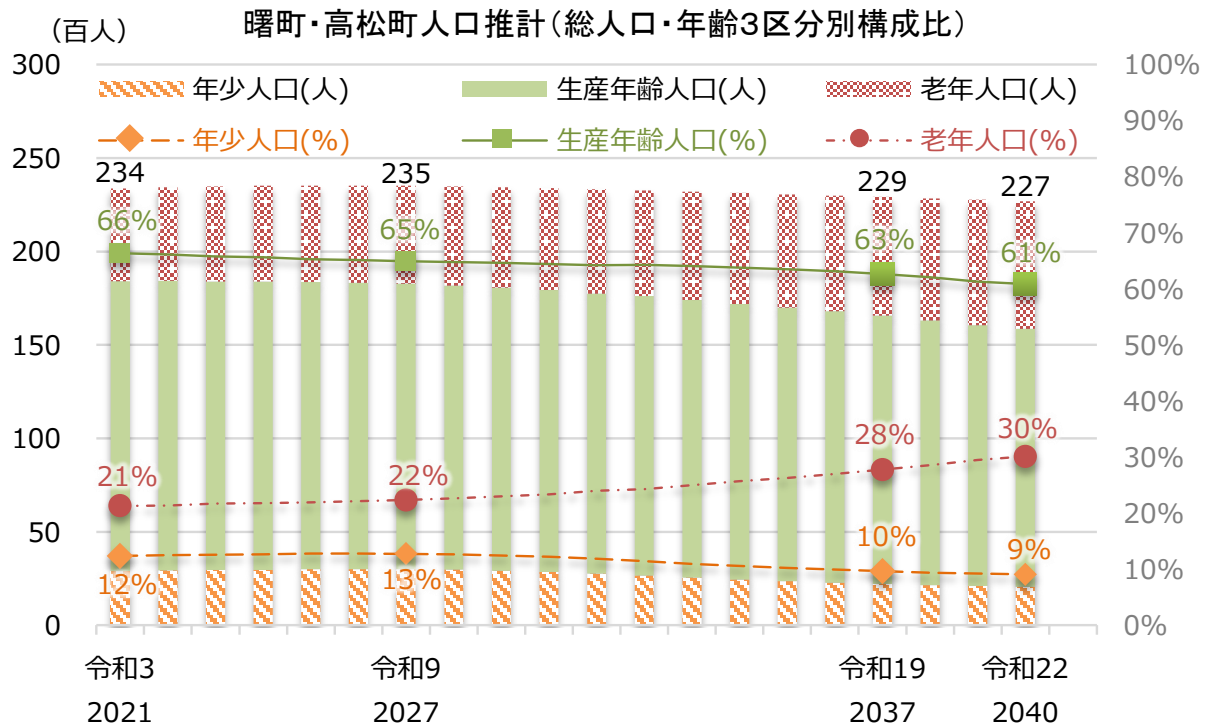
② 整備基本計画と民間活力導入可能性調査

区分	検討内容
整備基本計画 (令和4年9月策定)	・敷地与条件・法規制の整理 ・施設規模の検討 ・配置計画・諸室計画・平面計画・構造計画・設備計画の検討 ・建替え手順・概算事業費・整備スケジュールの検討
民間活力導入可能性調査	・PFI等手法導入の市場調査 ・事業スキーム(手法・形態・期間・範囲)の検討 ・VFMの算出※・リスク分担の検討 ※バリューフォーマナーの略称。従来手法で複合施設の設計・建設等を本市が独自に行う場合の費用とPFI等手法により行う場合の費用の総額を比較して算出

2 第二小学校/高松児童館/曙学童保育所複合施設整備について

③ 第二小学校圏域の人口推計（整備基本計画）

曙町及び高松町の人口推計では、市総人口は令和9年にかけて緩やかに増加し、以降減少に転じる見込みです。また、年少人口は市総人口と同様に令和9年にかけて緩やかに増加し、以降微減傾向となる見込みです。



※年齢3区分別人口構成比は小数点以下第1位を四捨五入しているため合計100%とならない場合があります。
出所：立川市「第4次長期総合計画後期基本計画策定のための将来人口推計調査」

2 第二小学校/高松児童館/曙学童保育所複合施設整備について

④ 第二小学校の児童数及び学級数の推計

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
児童数	421	421	418	441	437	428	418
学級数	14	14	14	16	15	14	13

※ 令和4年度は3年生が35人学級となり、令和7年度では全ての学年で35人学級となります。
令和6年5月2日の推計値。令和6年度は4月7日学級編成児童数

⑤ 建築計画（整備基本計画）

区分	内容
階数	地上4階建て
延床面積	約 6,850 m ²

2 第二小学校/高松児童館/曙学童保育所複合施設整備について

⑥ 小学校諸室、児童館ほか機能及び諸室（整備基本計画）

小学校 諸室	内容	区分	内容
普通教室等	普通教室、少人数教室、多目的教室	児童館	遊戯室、多目的室、図書室、トイレ、授乳室、事務室、給湯室、倉庫、更衣室
特別教室	理科室、音楽室、図工室、家庭科室		
図書室	図書室(ラーニング・コモンズ)		
特別支援学級教室	小教室、教員準備室、教材室	学童保育所	保育室、トイレ、事務室、配膳室、倉庫
特別支援教室	小教室、教員準備室		
管理諸室	職員室、校長室、事務室、保健室、用務員室、倉庫、教材室、教育相談室、会議室、教職員用更衣室、給湯室	集会・交流機能	地域交流室
児童活動等諸室	児童会室、放送室、児童用更衣室	防災施設	防災備蓄倉庫
保護者・地域連携諸室	保護者活動室(PTA室)、コミュニティルーム		
給食施設	配膳室		
体育施設	体育館、屋外体育倉庫		
共有空間	昇降口、廊下・階段、トイレ、手洗い場		

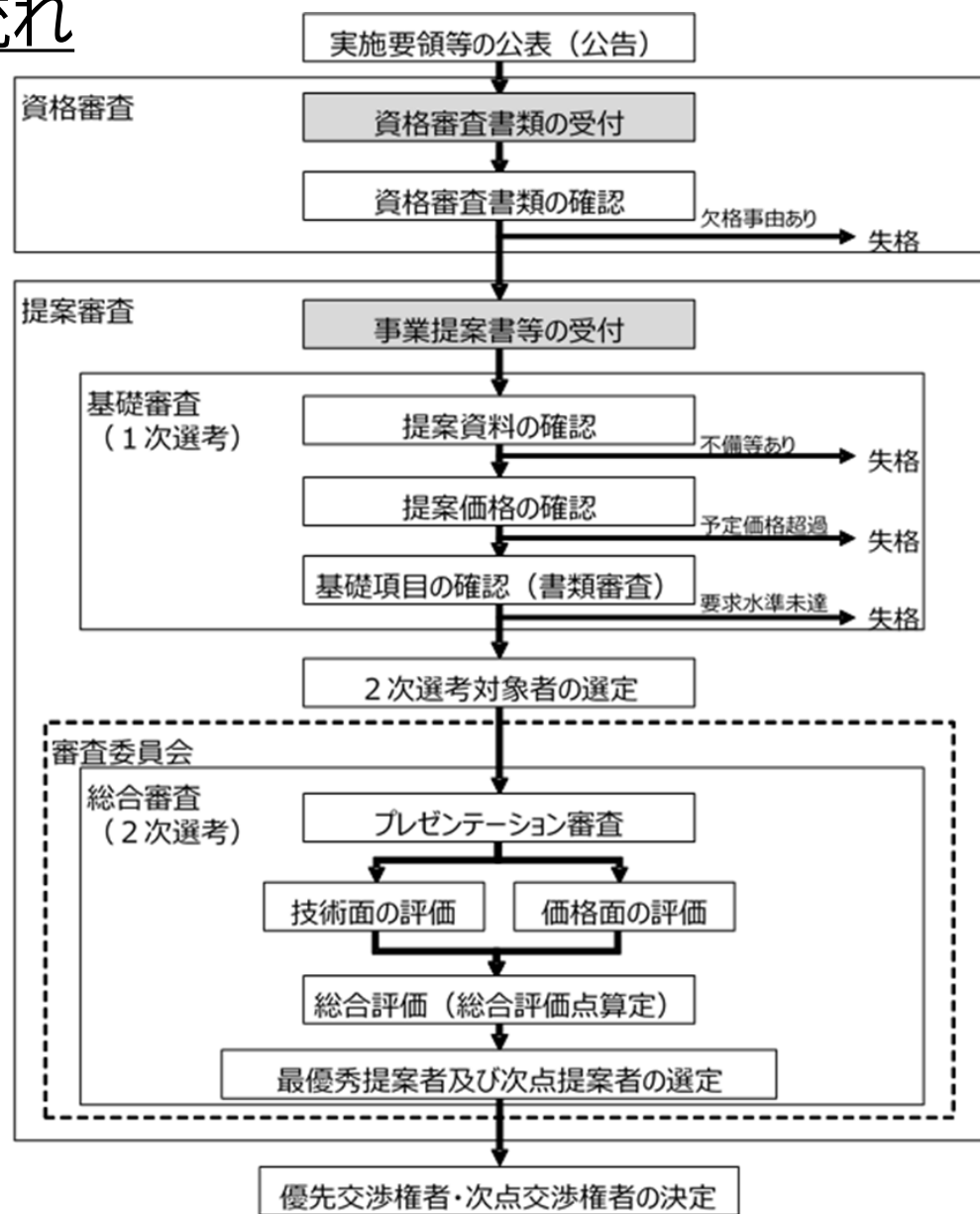
2 第二小学校/高松児童館/曙学童保育所複合施設整備について

⑦ 全体スケジュールと学年早見表

	令和 6 (2024) 年度			令和 7 (2025) 年度			令和 8 (2026) 年度			令和 9 (2027) 年度			令和10(2028)年度			令和11(2029)年度			令和12(2030)年度		
設計等	事業者選定			基本・実施設計																	
解体							既存校舎									既存体育館					
仮設				設計・建設			供用							解体							
建設										新校舎・新体育館					供用						
引越							●春休み									●冬休み					
校庭															校庭整備						
																					
										工事期間											
	令和 6 (2024) 年度			令和 7 (2025) 年度			令和 8 (2026) 年度			令和 9 (2027) 年度			令和10(2028)年度			令和11(2029)年度			令和12(2030)年度		
	0 歳			1 歳			2 歳			3 歳			年小 (4 歳)			年中 (5 歳)			年長 (6 歳)		
	1 歳			2 歳			3 歳			年小 (4 歳)			年中 (5 歳)			年長 (6 歳)			1 年生		
	2 歳			3 歳			年小 (4 歳)			年中 (5 歳)			年長 (6 歳)			1 年生			2 年生		
	3 歳			年小 (4 歳)			年中 (5 歳)			年長 (6 歳)			1 年生			2 年生			3 年生		
	年小 (4 歳)			年中 (5 歳)			年長 (6 歳)			1 年生			2 年生			3 年生			4 年生		
	年中 (5 歳)			年長 (6 歳)			1 年生			2 年生			3 年生			4 年生			5 年生		
	年長 (6 歳)			1 年生			2 年生			3 年生			4 年生			5 年生			6 年生		
	1 年生			2 年生			3 年生			4 年生			5 年生			6 年生					
	2 年生			3 年生			4 年生			5 年生			6 年生								
	3 年生			4 年生			5 年生			6 年生											
	4 年生			5 年生			6 年生														
	5 年生			6 年生																	

3 事業者選定

① 審査の流れ



3 事業者選定

② 総合審査

ア 技術面の評価

事業提案書及びプレゼンテーションの内容について、本事業で重視する事項や期待する事項に関する評価項目に沿って、優れた提案であるかどうかを評価し、採点基準表に基づき点数化した。

イ 価格面の評価

価格点 = 40点 × (最低提案価格 ÷ 当該提案価格)²

	配点	さくら	もみじ
技術点	60	40.38	31.71
価格点	40	40.00	38.77
総合評価点	100	80.38	70.48

3 事業者選定

③ 最優秀提案者及び次点提案者の選定

- 審査の結果、審査委員会は、総合評価点の得点が最も高い提案を行った「さくら」を最優秀提案者として選定した。
- 次点提案者は当該法人等の権利、競争上の地位、その他正当な利益を害するおそれがあるため非公表とする。

「応募者記号：さくら」

関東・長井特定建設工事共同企業体

代表企業：関東建設工業株式会社

構成企業：株式会社長井工務店

設計受託事業者：株式会社相和技術研究所

3 事業者選定

④ 審査講評(評価した点)

区分	評価した点
小学校	廊下が8の字型の環状動線となっていて、その動線上にワークスペースを配置 ⇒ 新たな学び・多様な学びに対応可能である
学童保育所・児童館	歩道と接続する配置 ⇒ 利用者・利用目的、活動のしやすさに配慮している
地域の拠点	地域交流室や小学校のコミュニティルーム等の諸室配置 ⇒ 地域住民等の利便性に配慮している

4 お問い合わせ先

学校施設等について

立川市 教育委員会事務局 教育部 学校施設建替担当課

〒190-8666 東京都立川市泉町1156-9

TEL 042(522)-6996

FAX 042(528)-1204

Eメール kyouikusoumu@city.tachikawa.lg.jp

児童館・学童保育所について

立川市 子ども家庭部 子ども育成課

〒190-8666 東京都立川市泉町1156-9

TEL 042(528)-4372

FAX 042(528)-4356

Eメール kodomoikusei@city.tachikawa.lg.jp

